



リオン株式会社

2023年3月期 第2四半期

決算説明会

2022年11月16日
東京証券取引所 プライム市場
証券コード <6823>

1 2023年3月期 第2四半期決算概要

2 今後の業績見通しと事業環境

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

常務取締役 経営企画本部長 加藤 公規

はじめに－ 3事業セグメントと4製品群

事業セグメント	製品群	特徴
A. 医療機器事業	① 補聴器	<ul style="list-style-type: none">国内トップシェアリオネット補聴器
	② 医用検査機器	<ul style="list-style-type: none">耳鼻咽喉科領域オーディオメータ
B. 環境機器事業	③ 音響・振動計測器	<ul style="list-style-type: none">騒音公害対策が起源騒音計・振動計・地震計
C. 微粒子計測器事業	④ 微粒子計測器	<ul style="list-style-type: none">半導体製造関連向け浄水・医薬品向け

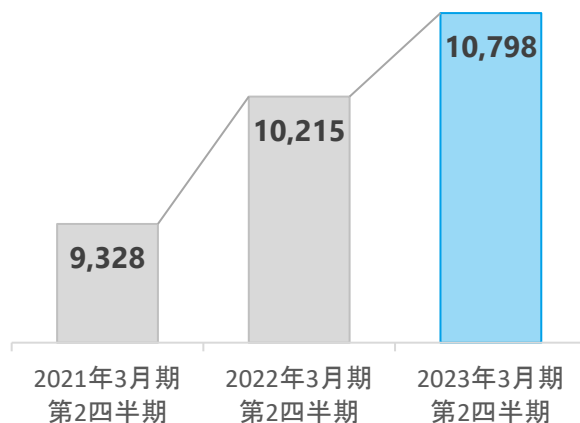
連結業績－決算ハイライト

微粒子計測器は好調継続、上期における過去最高の売上高を達成

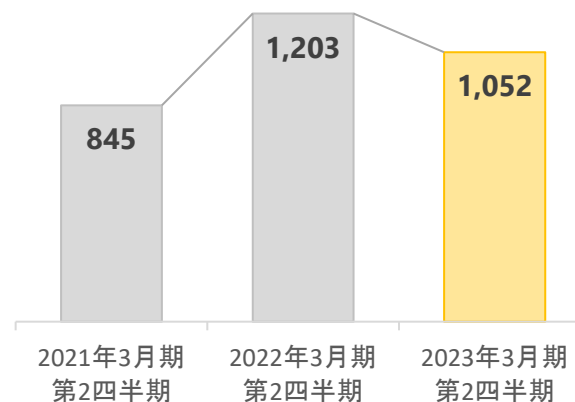
コロナからの回復に伴い、医療・環境機器事業で売上が復調

製品開発への積極投資や部材高騰によりグループ全体では減益に

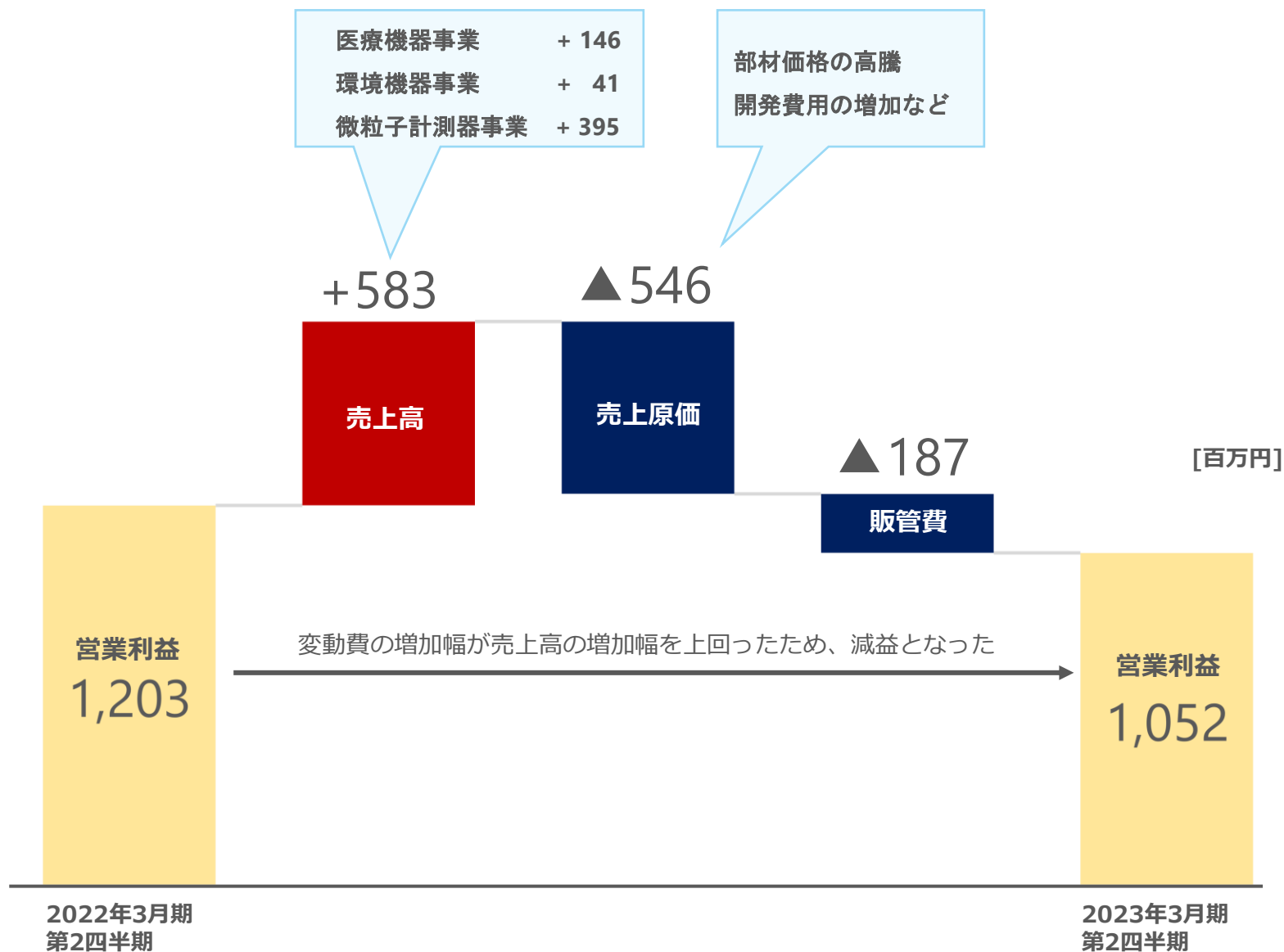
売上高 [百万円]



営業利益 [百万円]



営業利益の推移



事業セグメント別－①医療機器事業

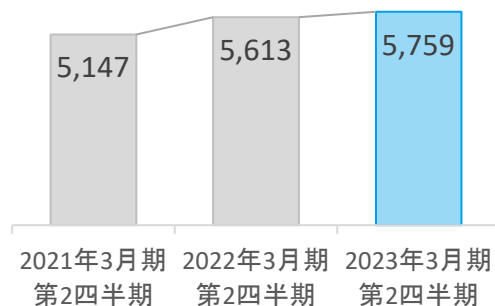


[増収増益]

- 補聴器－時間の経過とともにコロナの影響は軽微なものに変化。売上は前年同期を上回った。
- 医用検査機器－健診用途向け製品の販売が堅調。前年同期の売上を上回った。

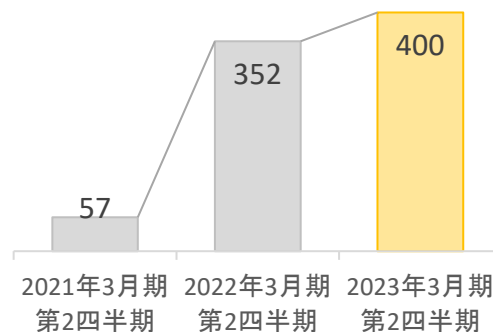
売上高 [百万円]

↑ 146
(前年同期比)



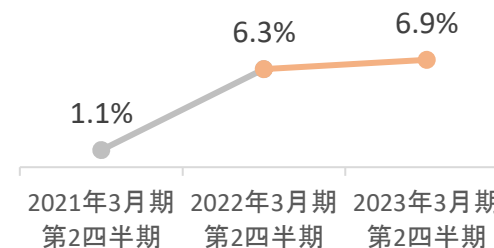
営業利益 [百万円]

↑ 47
(前年同期比)



営業利益率 [%]

↑ 0.6pt
(前年同期比)



事業セグメント別 – ②環境機器事業

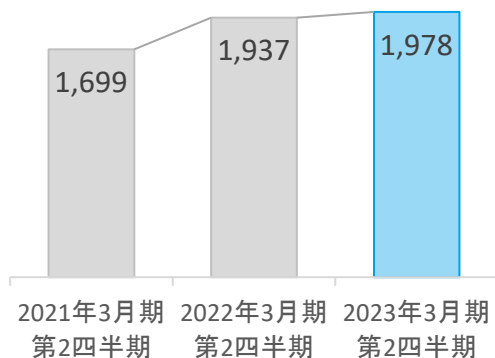


[増収減益]

- 海外市場への販売が好調。国内市場では、工事現場向けの製品が前年好調であった反動により減少した。
- 新製品開発への積極投資やM&A関連費用(ノルソニック社)の計上により、一時的に営業損失を計上。

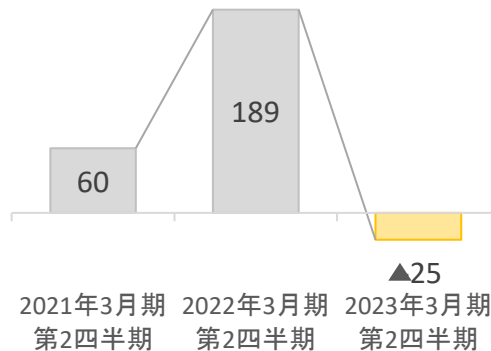
売上高 [百万円]

↑41
(前年同期比)



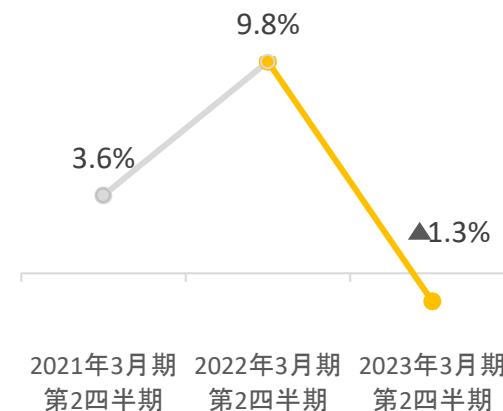
営業利益 [百万円]

↓215
(前年同期比)



営業利益率 [%]

↓11.1
(前年同期比)



事業セグメント別 – ③ 微粒子計測器事業

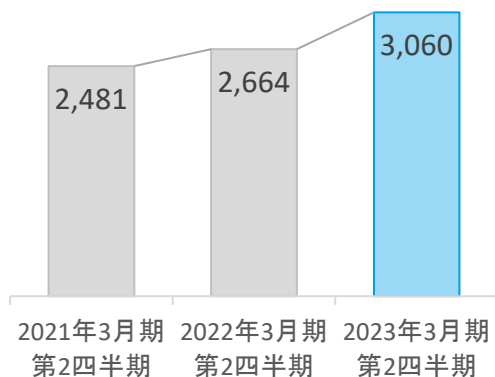
[増収増益]



- 半導体市場では活発な設備投資が継続し、主力製品である液中微粒子計測器の販売が好調に推移した。
- 旺盛な需要に対応するため、生産体制の強化を実施。生産に必要な半導体部品や素材価格の上昇も重なり、増益幅は限定的となった。

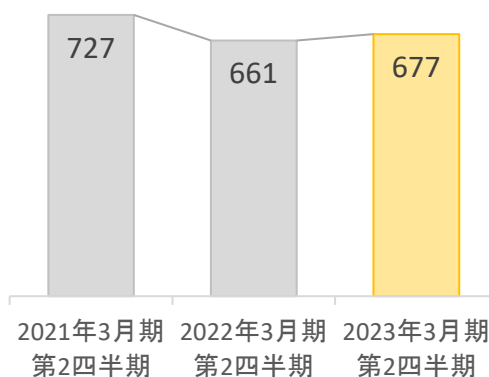
売上高 [百万円]

↑ 395
(前年同期比)



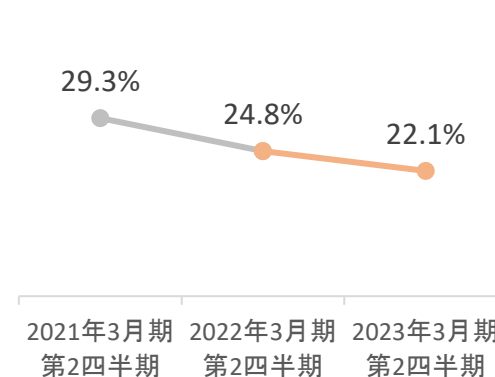
営業利益 [百万円]

↑ 16
(前年同期比)



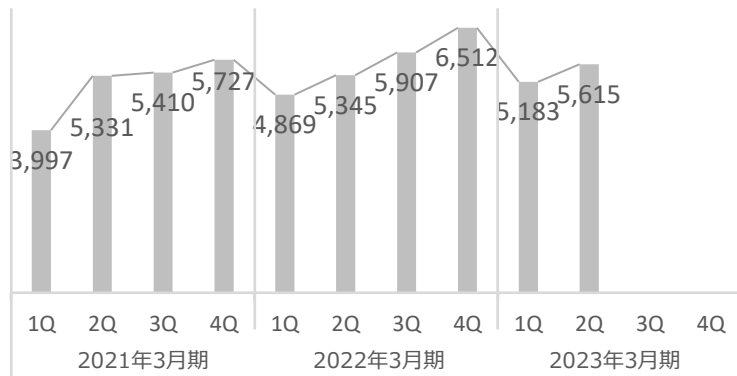
営業利益率 [%]

↓ 2.7 pt
(前年同期比)

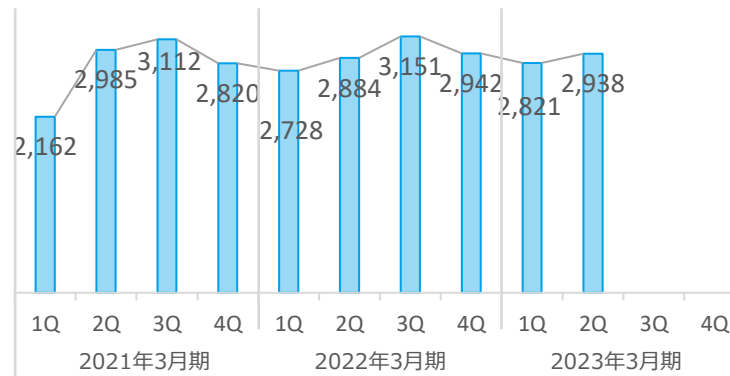


売上高 四半期の推移 (事業セグメント別)

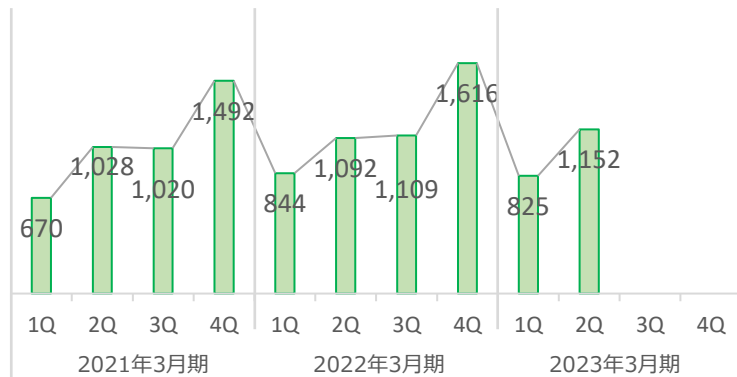
全体：売上高 [百万円]



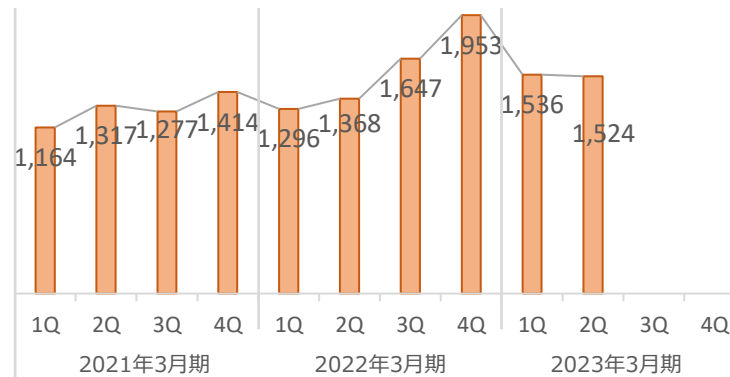
医療機器事業：売上高 [百万円]



環境機器事業：売上高 [百万円]

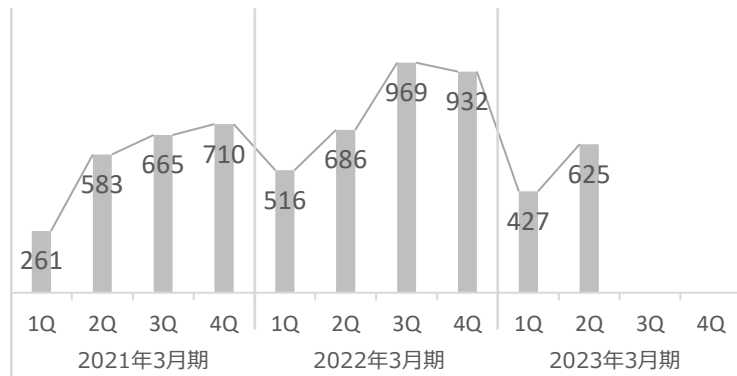


微粒子計測器事業：売上高 [百万円]

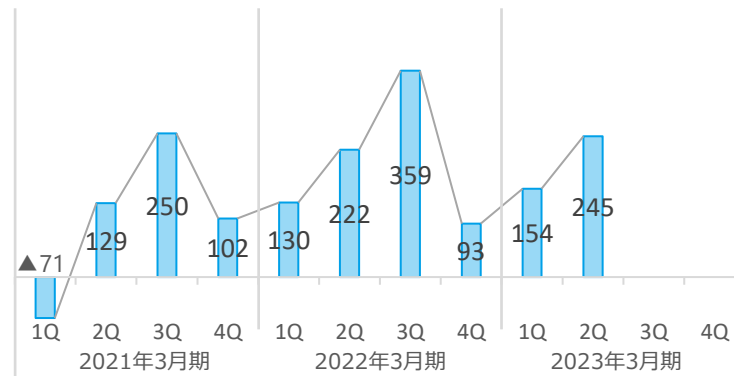


営業利益 四半期の推移 (事業セグメント別)

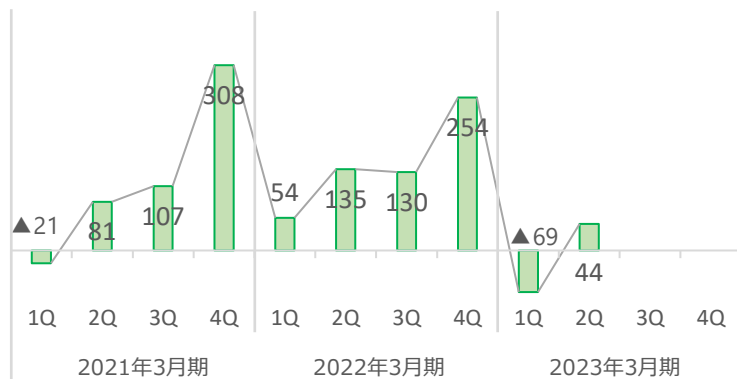
全体：営業利益 [百万円]



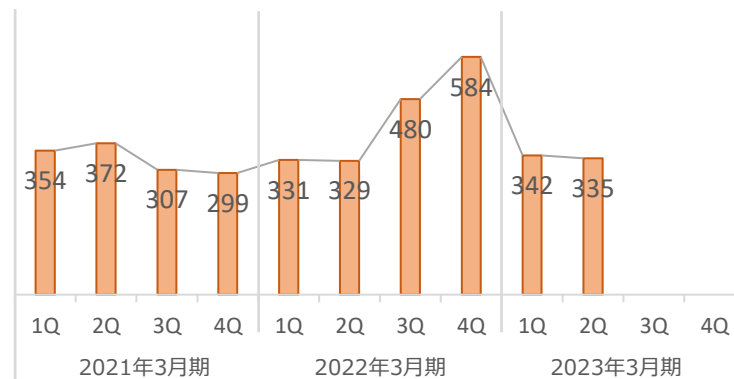
医療機器事業：営業利益 [百万円]



環境機器事業：営業利益 [百万円]



微粒子計測器事業：営業利益 [百万円]



連結貸借対照表 (B/S)

[百万円]

	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
流動資産	20,328	20,213	▲115	▲0.6%
現金及び預金	7,719	8,322	603	7.8%
棚卸資産	5,217	5,768	550	10.6%
その他	7,391	6,122	▲1,269	▲17.2%
固定資産	12,828	12,969	140	1.1%
有形固定資産	9,431	9,477	46	0.5%
無形固定資産	1,049	1,245	195	18.6%
投資その他の資産	2,347	2,246	▲101	▲4.3%
資産合計	33,157	33,182	25	0.1%
流動負債	4,575	4,290	▲285	▲6.2%
固定負債	3,292	3,306	13	0.4%
負債合計	7,868	7,596	▲271	▲3.5%
純資産合計	25,289	25,586	297	1.2%
負債及び純資産合計	33,157	33,182	25	0.1%

連結損益計算書 (P/L)

[百万円]

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	10,215	10,798	583	5.7%
売上原価	5,014	5,561	546	10.9%
売上総利益	5,200	5,236	36	0.7%
販売費及び一般管理費	3,996	4,184	187	4.7%
営業利益	1,203	1,052	▲151	▲12.6%
営業外収益	55	51	▲4	▲7.2%
営業外費用	24	26	1	7.9%
経常利益	1,235	1,078	▲157	▲12.7%
特別利益	—	55	55	—
特別損失	4	265	261	5862.8%
税金等調整前四半期純利益	1,230	867	▲363	▲29.5%
法人税等	387	262	▲125	▲32.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	843	605	▲237	▲28.2%

連結キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

[百万円]

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比
	実績	実績	増減額
営業活動によるCF	1,688	1,527	▲160
税金等調整前四半期純利益	1,230	867	▲363
減価償却費	319	348	29
法人税等の支払額	▲337	▲782	▲445
その他	475	1,093	618
投資活動によるCF	▲421	▲245	175
有形固定資産の取得による支出	▲201	▲330	▲128
無形固定資産の取得による支出	▲247	▲343	▲95
その他	27	427	400
財務活動によるCF	▲264	▲288	▲23
配当金の支払額	▲258	▲282	▲24
その他	▲6	▲6	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,828	8,157	1,328

2. 今後の業績見通しと事業環境

代表取締役社長 岩橋 清勝

通期予想サマリー

- 補聴器はウィズコロナの浸透により復調が継続。
- 環境機器、微粒子計測器は増収傾向続くが部材調達の影響により来期ずれ込みを一部想定。
- 事業環境の変化を受け、各セグメントで価格改定を実施。

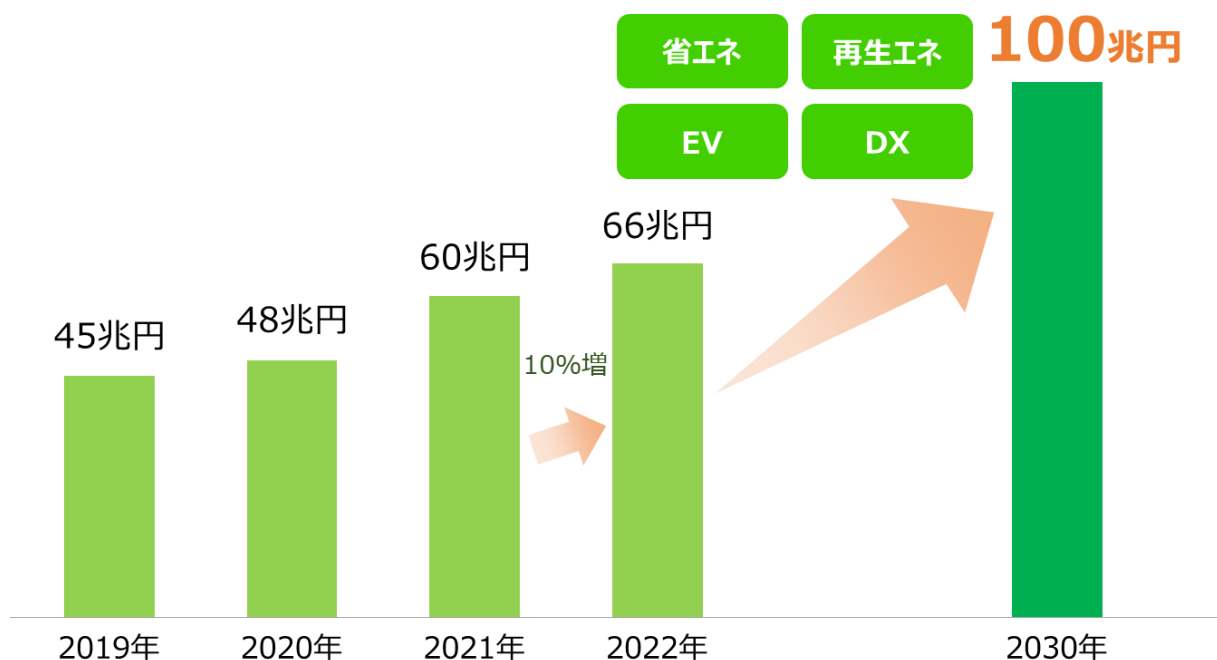
[百万円]

	2022年3月期	2023年3月期予想 (2022/10/21発表)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	22,635	23,200	564	2.5%
営業利益	3,104	2,700	▲404	▲13.0%
経常利益	3,212	2,750	▲462	▲14.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,229	1,750	▲479	▲21.5%
1株当たり 当期純利益	181円41銭	142円29銭	—	—
営業利益率	13.7%	11.6%	—	—

微粒子計測器事業の将来について

- メモリの供給過剰が指摘されているが、2030年には世界の半導体市場は100兆円規模に到達すると推定されており、当社製品への旺盛な需要は今後も増加する。
- 将来の成長に向けて積極的な設備投資を継続する。

世界の半導体市場



※出所：電子デバイス産業新聞試算 出所：WSTS世界半導体市場統計

補聴器の未来と市場動向

- コロナ以前は高齢人口が増えるにつれ補聴器装用者も増加。
- 2020年度以降は、コロナにより一時的にマイナスになったが、2023年度以降はコロナ前のトレンドに回帰すると予想。

日本国内補聴器出荷台数の推移



※出所：一般社団法人日本補聴器工業会

環境機器事業の取り組み

ノルソニック社の子会社化について

- 環境計測市場におけるグローバルシェアの拡大
 - 海外市場シェア 10%⇒20%
 - 環境行政が進む欧州市場シェア 5%⇒25%
- 環境モニタリングシステムにおける新サービスの獲得
- シナジー効果の創出



11/7 完全子会社化を完了

音響・振動計測器8製品を発売予定

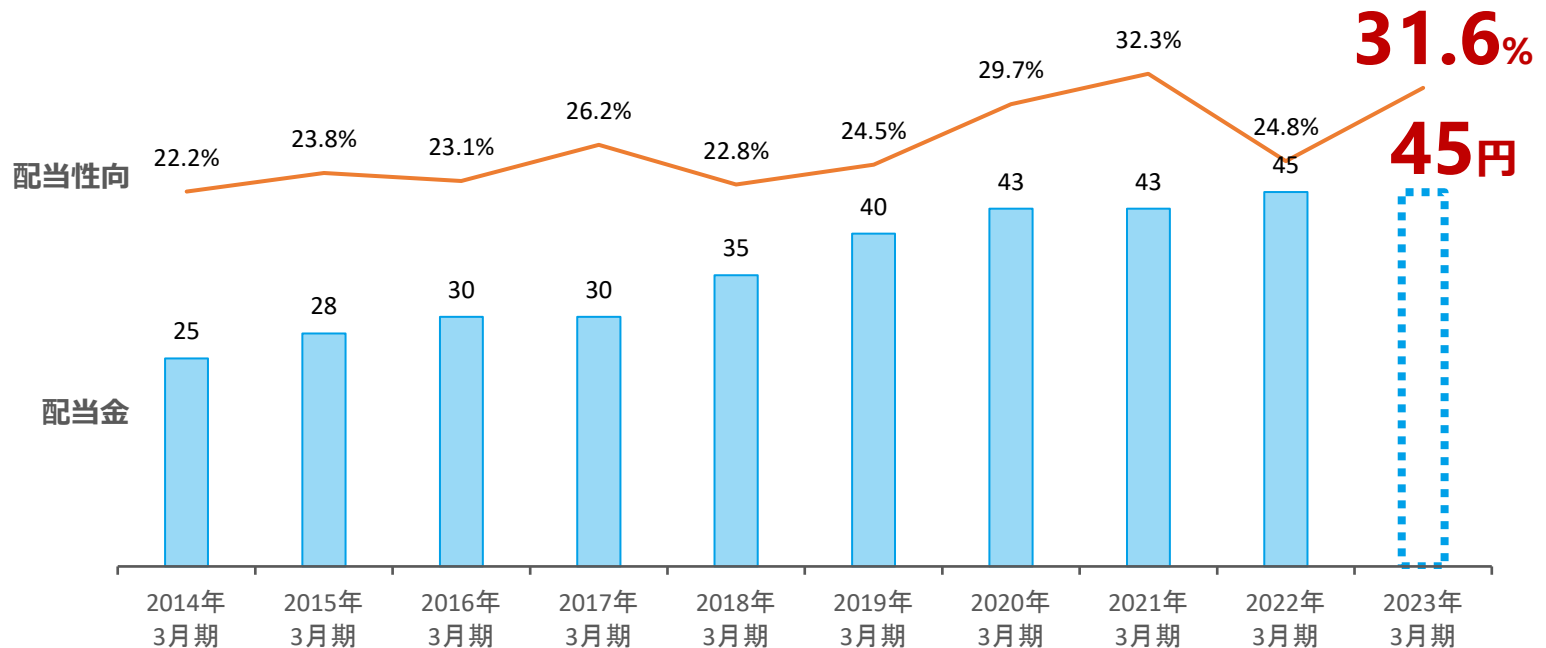
- 2023年度にかけて、新型の騒音計3機種・振動計2機種・地震計1機種、センサー1機種に加え、新ラインナップとなる騒音ばく露計など、合計8製品の発売に向けて鋭意開発を進めている。



新ラインナップである
騒音ばく露計を装着した様子

配当金と配当性向

- ・ 業績に応じた配当金額の設定
- ・ 配当水準向上の取り組みを継続





リオンは すべての行動を通して
人へ 社会へ 世界へ 貢献する

Contributing to people, society and the world through all our activities

免責事項 | 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。